

月刊



平成24年1月1日発行 通巻192号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

湖国が滋る・水と緑の街づくり

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- ・新年のあいさつ 2
- ・1月1日以降のCPD認定
プログラム情報 3
- ・情報広報委員会 ホームページが
新しくなりました
- ・女性委員会 DoシリーズNo.60
民家移築再生の魅力と
プロセスを学ぶ 4
- ・女性委員会 DoシリーズNo.59
報告 5
- ・青年委員会企画 研修旅行
2012 in 熊本のご案内 6
- ・第19回 近畿あーきてくと2012
地域実践活動発表会
開催のご案内 7
- ・大津支部青年委員会・湖南支部青年委員会
「近江八景でつながる琵琶湖
の風景 ～急がばまわれ瀬田
の唐橋～」 8
- ・青年委員会
第7回ゴルフコンペ
開催報告 9
- ・支部だより
湖東支部・高島支部
- ・支部だより
湖北支部 10
- ・1月の暦
- ・新入会員のご紹介
- ・おうみ賢人



おうみ賢人
(第5回)

西武大津ショッピングセンター (大津市)

1976年6月大津市におの浜に開業。RC造地上7階、地下1階と、当時では滋賀県で一番広い商業施設で、設計も菊竹清訓建築設計事務所と当時としては非常に珍しい「建築家が設計した商業施設」です。エントランス部の大理石張りの柱や、階段状の緑のバルコニー、6階から7階への吹き抜け部など、売り場面積を最大限に生かさなければならぬ百貨店においてはあり得ない所に魅力を感じる建築です。また、西武といえば、少し足を延ばすと大津プリンスホテルとこれもまた丹下健三設計であり、どちらも訪れるたびに気が引き締まる思いがします。

新年のあいさつ



(社)滋賀県建築士会
会長 山本 勝義



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに初春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会に格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、3月11日に「東日本大震災」が発生し、多くの被災者が越年され、新年をお迎えになれましたが、完全な復興には、まだ幾多の歳月がかかると思います。

心から一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

3月の臨時総会でご承認を頂きました事業計画の基本方針である

「より期待され、信頼される建築士をめざして」

を基本に建築士の倫理観の高揚、建築士の技術研鑽、組織の強化と会員の発掘、社会的事業の推進など、公益法人化をめざして、本格的に取り組んでまいりました。

特に、平成23年度は、本会創立60周年を迎え、「公益法人認定申請」を行うとともに「東日本大震災義援金募集や震災後の先遣隊調査派遣」「滋賀県応急危険度判定士更新・新規登録業務」及び「滋賀県防犯モデルマンション審査」への協力など役員の皆様のご協力とご理解を得て、新たな事業展開を図りながら、従来からの事業も充実強化し、多くの成果を上げることが出来ました。

これひとえに会員の皆様及び関係機関のご協力の賜物と深く感謝致しております。

こうした将来を見据えた新たな活動も行っておりますが、滋賀県建築士会としては、財源の問題を始め、まだまだ多くの課題が山積しております。この難局を乗り越えて、新たな進路を切り開くためには、関係機関との連携を深め、会員相互の信頼と協力に尚一層努めなければならないと考えております。

自分には自分に与えられた道がある。天与の尊い道がある。どんな道かは知らないが、ほかの人には歩めない。自分だけしか歩めない、二度と歩めぬ掛け替えのないこの道。

広い時もある。狭い時もある。上りもあれば下りもある。坦々とした時があれば、かきわけかきわけ汗する時もある。

この道が果たして善いのか悪いのか、思案に余る時もある。慰めを求めたくなる時もある。しかし、所詮はこの道しかないのではないか。

諦めろと言うのではない。いま立っているこの道、いま歩んでいるこの道、ともかくもこの道を休まず歩むことである。自分だけしか歩めない大事な道ではないか。自分だけに与えられている掛け替えのないこの道ではないか。

他人の道に心を奪われ、思案に眩れて立ちすくんでいても、道は少しも開けない。道を開く為には、まず歩まねばならぬ。心を定め、懸命に歩まねばならぬ。

それがたとえ遠い道のように思えても、休まず歩む姿からは必ず新たな道が開けてくる。深い喜びも生まれてくる。

これは、松下幸之助の数ある著作の中でも最大のベストセラーとして多くの方々に親しまれている『道をひらく』の、まさにいちばん初めに掲げたエッセイです。つまり、松下幸之助がまず最初にどうしても述べたかったことであり、松下幸之助の人間観が存分にこめられたものです。その思いを要約し換言するならば、みずからの運命を知る。

そして、その運命を生かし、立命する。その大切さを、松下幸之助なりの言葉で訴えかけたものです。

滋賀県建築士会の運営を思う時、いつも心に浮ぶ言葉です。

建築士を取り巻く環境がまだまだ厳しい中、我々建築士会では、会員相互の生きたネットワークの構築をめざし、各種事業のオープン化など社会貢献活動を通して、社会的な信用力を向上させながら、建築士の品位の保持の為に、業務改善に取り組む所存ですので、本年もなお一層のご理解とご支援をお願い申し上げ、新年のあいさつと致します。

1月1日以降のCPD認定プログラム情報

詳細はプロバイダーにお問い合わせください。

地 域	日 時	認定プログラム名	プロバイダー名	会 場	単位
滋賀県	2012年 1 月 8 日	平成23年度 日本伝統建築棟梁研修講座	日本伝統建築技術保存会	米原会場	8
滋賀県	2012年 1 月 9 日	平成23年度 日本伝統建築棟梁研修講座	日本伝統建築技術保存会	米原会場	6
滋賀県	2012年 1 月 9 日	平成23年度「日本伝統建築技能研修（後期）」講座	日本伝統建築技術保存会	西日本会場	8
滋賀県	2012年 1 月10日	平成23年度「日本伝統建築技能研修（後期）」講座	日本伝統建築技術保存会	西日本会場	6
京都府	2012年 1 月18日	古民家鑑定士認定講習	一般社団法人200年住宅再生ネットワーク機構	京都産会館	3
京都府	2012年 1 月30日	「住まいのエネルギーについて考える」第3回勉強会	社団法人京都府建築士会	京都建設会館別館会議室	2
大阪府	2012年 1 月10日	会員会勢委員会女性分科会 住・空間らぼ 1 月例会	社団法人大阪府建築士会	(社)大阪府建築士会 会議室	2
大阪府	2012年 2 月 9 日	会員会勢委員会女性分科会 シルバーライフ研究会 2 月例会「建築家による高齢者はどこに住む」	社団法人大阪府建築士会	(社)大阪府建築士会 会議室	2
大阪府	2012年 2 月10日	2011年度 V E 等施工改善事例発表会	社団法人日本建設業連合会	エル・おおさか	4
大阪府	2012年 3 月 9 日	会員会勢委員会女性分科会 シルバーライフ研究会 及び住・空間らぼ 3 月合同例会	社団法人大阪府建築士会	(社)大阪府建築士会 会議室	2

情報広報委員会

ホームページが新しくなりました

滋賀県建築士会のホームページが新しくなりましたのでご利用ください。

ご意見などございましたら事務局までお寄せください。

The image shows a screenshot of the Shiga Prefecture Architectural Association's website. Several callouts with circles highlight specific areas:

- 建築士会からののお知らせ
行政等からの重要なお知らせ**: Points to the top-left section of the homepage.
- 一般の方への耳より情報**: Points to the '住まいづくり' (Building a home) section.
- 建築士向け情報と
会員増強の充実をめざします**: Points to the bottom section of the homepage.
- 建築士会の
行事予定**: Points to the '行事予定' (Events) section.
- 定期講習や
イベントの
案内などは
こちらから**: Points to the '定期講習等の案内' (Regular seminars and event information) section.
- 会員向け
情報はこちら**: Points to the '会員の方へ' (For members) section.



古来より、日本の伝統構法で建てられた民家は、少しずつ手を入れることで百年以上住み続けることができ、解体しても移築再生することで材料を無駄にせず、大切に引き継いできました。戦後の高度成長期に新しい材料、工法が良しとされ、民家の移築再生は激減しましたが、昨今、再び、日本全国で先人の価値観が見直されてきています。滋賀県下では、比較的早い時期より、民家移築や現地再生が行われてきましたが、その牽引役となってきた新旭町の島村葎商店で、民家移築再生の事例や実際の部材や建具などを見ながら、木下龍一氏（一級建築士事務所アトリエRYO主宰）にその魅力やプロセスを学びたいと思います。

- 日 時：平成24年2月12日(日) 13：00～16：00（現地集合・現地解散）
- 会 場：古材の郷 島村葎商店 滋賀県高島市新旭町旭8番地 TEL 0740-25-4370
- 募集人員：30人
- 会 費：会員／1,000円 会員外／1,500円
- 日 程：12：30～ 受付
- 13：00～14：30 木下龍一氏講演
- 14：30～15：00 島村葎商店2号店 古良慕（コラボ）へ移動
カフェタイム
- 15：00～16：00 古良慕の展示品を見ながら、フリーディスカッション
- 申し込み締め切り：平成24年2月10日(金)
- CPD単位 3単位（予定）



DoシリーズNo.60 民家移築再生の魅力とプロセスを学ぶ

会員／会員外	お名前	連絡先 TEL（当日連絡用）
会員・会員外		
会員・会員外		

お申し込みはFAXにて・・・(社) 滋賀県建築士会 事務局 <FAX.077-523-1602> (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

「水中乾燥材にみる家づくり」報告書

今回のDoシリーズはNPO法人「甲賀・森と水の会」が、森林資源循環システム構築活動の1つとして取り組まれている、水中乾燥の現場を見学し、木の乾燥について勉強しました。開催日の11月26日(土)はとっても良いお天気になり、この時期としては暖かな一日でした。参加者は会員16名、会員外1名の計17名と、講師3名を迎えての見学研修会となりました。

まず土山の山中の農業用ため池で貯木されている現場を見に行きました。丸太はロープでつながれ池に浮かんでいました。ため池は深く、中には沈んでしまう丸太もあるためロープでつなぐようにしたのだそうです。ちょうど見学中にクレーンを使って丸太を引き上げておられました。伐採してすぐに水に浸け1年ほどたったものだそうです。上がってきた丸太は黒くお世辞にもきれいとは言えないように見えてましたが、これを製材するととても綺麗なのだそうです。木の香りも気になってどうなのか質問が出ましたが、香りも損なわれることはないそうです。引き続き休耕田を掘り下げ水を張って貯木されているところを見学しました。丸太を水中貯木できる場所を確保するのも水利権等でなかなか難しいとのこと。池の横で丸太が輪掛けで天然乾燥されていました。

場所をあいの丘文化公園内の「土山町森林文化ホール」に移動し、水中処理、天然乾燥の実験データーを見ながら定成先生からお話を聞きました。

その後、宮内建築さんの作業所にお邪魔し、乾燥されたものを建築用に加工されているところを見せていただきました。木のいい香りが作業所いっぱいに広がっていて現地での気がかりはすっかり晴れました。ただ、山自体に十分に手をかけることが出来てなくて、50年先に県産材がどうなっているか心配というお話も聞いて心が痛みました。未来に木材を残すためには今から、それぞれの立場で考えていかなくてはならないと思いました。



定成教授による講演会



ため池に貯木されている丸太



丸太の引き上げ作業



宮内建築の工場にて水中乾燥材に触れる



輪掛け（井桁組）で天然乾燥中の丸太

熊本駅周辺

今年も九州は熊本!

今年の研修旅行は、昨年3月12日に全線開通した九州新幹線に乗って、熊本へ行きます。

九州新幹線開通に伴い、リニューアルされている熊本駅は、地元の若手建築家がデザインの調整役を務められておられ、現在も周辺事業も含め整備が進められています。そんな若手建築家のお話を聞かせて頂く研修と建物見学、そして、現在も復元整備事業が行われている熊本城を見学します。

翌2日目は、熊本城下を起点とした「豊前街道」が通る山鹿市を訪ねます。国指定重要文化財である「八千代座（江戸時代の建築様式を受け継いだ芝居小屋）」及び周辺地を散策します。

遠くてなかなか行けない九州・熊本! ぜひ、この機会に行きましょう!! 多数のご参加をお待ちしております。

日 時	平成24年2月24日(金)~2月25日(土) ※先月号では、3月上旬予定と予告させて頂いておりましたが、各所調整の結果、上記日程となりました。
行 き 先	熊本駅周辺整備事業の見学／熊本城の復元整備事業の見学／豊前街道が通る山鹿市周辺散策 ※前月号で予告させて頂いておりました「阿蘇山」へは、諸事情により山鹿市散策へと変更させて頂いております。
募 集 人 員	40名 (会員及び会員ご家族)
参 加 費	会員／45,000円 ご家族／55,000円 ※集合場所の新大阪駅までの乗車券・解散場所の京都駅からの乗車券等は各自のご負担でお願いいたします。 ※ホテル宿泊のシングル希望の方は、3,000円UPとなります。また、場合により、ご希望に添えない場合があります。
申 し 込 み	下記の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、建築士会事務局へFAXをお願いします。
締 め 切 り	平成24年1月31日(火) ※ただし、定員になり次第締め切ります。 ※参加者には、後日、FAXまたはメールにて詳細をお知らせいたします。

■行程(予定)

2/24(土)	滋賀各地 → 新大阪発(9:59) → (新幹線(さくら549号:熊本直通)) → 熊本駅着(13:19) → 熊本駅周辺整備事業の見学(13:30~15:30) → ホテル荷物預(15:45) → 熊本城見学(16:00~17:30) → 懇親会(18:00~20:00) → ホテル着(20:10)
2/25(日)	ホテル発(9:00) → 山鹿市周辺散策(10:00~15:00) → 新玉名駅発(16:16) → (つばめ350号(800系)) → 博多駅着(乗換:16:56~17:30) 博多駅発 → (新幹線) → 京都駅着(20:14) → 滋賀各地



熊本城

イメージ

青年委員会 研修旅行 2012 in 熊本 申し込み用紙

お名前(フリガナ)	住 所	連絡先	会員 ご家族	宿泊部屋希望 (いずれかに○記入)
	〒	電 話 FAXまたはE-mail 当日連絡先(携帯電話等)	会員 ・ ご家族	シングル ツイン どちらでも可
	〒	電 話 FAXまたはE-mail 当日連絡先(携帯電話等)	会員 ・ ご家族	シングル ツイン どちらでも可
	〒	電 話 FAXまたはE-mail 当日連絡先(携帯電話等)	会員 ・ ご家族	シングル ツイン どちらでも可

お申し込みはFAXにて・・・(社) 滋賀県建築士会 事務局 <FAX.077-523-1602> (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

第19回 近畿あーきてくと2012 地域実践活動発表会開催のご案内

今年度のテーマ 緑 ～未来につなぐ、ひと・まち・くらし～



平成6年度より開催しております地域実践活動発表会も今年度で19回目を迎えようとしています。

地域実践活動とは共通項目で「地域の活性化」があげられます。地域社会の希薄化、少子高齢化、都会への人口流出等、様々な問題を抱えているのが現実です。今年度は「緑」というテーマで地域活動を実践している皆様に発表して頂きます。「緑」とは様々な読み方があり、えん、えにし、ゆかり等、思いつくだけでも多数存在します。「緑」とは何かと考えるとき、地域活動との繋がりがやまちづくりとの繋がりが、様々な繋がりがあることを感じます。様々な読み方があることから、ここは各府県の発表者にまかせて発表して頂くことにしました。滋賀県からは「愛東地区まちづくり協議会、愛の田園ネット」様に「住民参加によるまちづくり事業」と題して市町村合併以降の地域まちづくり事業のシステムづくりの体験を発表して頂きます。昨年度からは学生枠を設け、建築士だけではなく学生の新鮮な感覚、活動を知ることにより新しい刺激や知識を感じ取りたいと考えています。講演は和歌山大学の本多友常先生に「自然発生的な建築物」～環境・まちづくり・人とのつながり～と題して講演して頂きます。「まちづくり」には様々な団体の方が関わっておられ、活動内容や関わり方の違いが焦点となる発表会を目指しています。一人でも多くの建築士のご参加をお待ちしております。

日 時 2012年1月28日(土) 開場12:30 開演13:00

場 所 学校法人常翔学園(大阪工業大学)大阪センター(大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社・毎日インテシオ3F)(毎日インテシオは毎日新聞ビル1Fとつながっています)

定 員 180名(申込先着順) 参加費500円(資料代) 学生無料 交流パーティーは有料

プログラム

第一部 発表会	13:20～
第二部 講演	16:05～
第三部 質疑・応答	17:10～
交流パーティー	18:30～

会場: プリーゼプラザ小ホール(プリーゼタワー7F)

(発表会場の近くです)

※有料 参加費/5,000円(学生3,000円)

主 催 近畿建築士会協議会青年部会

お 申 込 み 近畿建築士会協議会青年部事務局(大阪府建築士会内)
までFAX又はメールにてお願いします。

TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

mail:info@aba-osakafu.or.jp

アクセス
MAP



第19回地域実践活動発表会 近畿あーきてくと2012参加申込書

氏名				士会名・支部名(会員のみのみ)	
住所	〒 建築士会員・一般 (どちらかに○をつけて下さい)				
勤務先・学校名			電 話		
交流パーティー	☐ 参加 ☐ 不参加				

※お書き頂いた個人情報、内部資料に留め、他の目的に使用することはございません。

「近江八景でつながる琵琶湖の風景 ～急がばまわれ 瀬田の唐橋～」

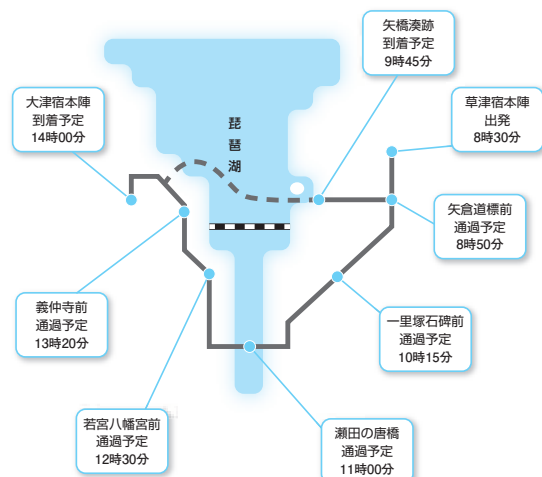
フォーラムのご案内

大津支部および湖南支部は、「近江新八景ルール」として大津市で実施された高度地区の拡充から1年が経過したこと、また、平成23年6月をもって草津市が景観行政団体に移行したことを記念して、“近江八景でつながる琵琶湖の風景”～急がばまわれ 瀬田の唐橋～と題したフォーラムを開催いたします。

今事業は2部制となっております。第1部では、両支部の青年委員会メンバーとそして両市職員がチーム別となって、草津宿本陣から大津宿本陣跡を目指します。なお、唐橋を経由して徒歩で向かうチームと船で移動するチームを編成し、旧東海道の歴史・文化について調査し第2部のフォーラムを行います。

第2部は、大津市歴史博物館 館長の樋爪 修氏に基調講演をしていただき、パネルディスカッションを開催します。樋爪氏は大津支部での事業の折、講演していただいております。ふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。

■第1部 急がばまわれ！ 出発・通過・到着 予定時刻



開催日時 平成24年1月29日(日)

1部 8時30分～14時

2部 開場 14時15分

【基調講演】 14時45分～15時30分

【パネルディスカッション】 15時45分～16時45分

開催場所 第1部 旧東海道（草津宿本陣～大津宿本陣跡）

第2部 大津市立大津祭曳山展示館
(大津市中央1丁目2番27号 丸屋町商店街アーケード内)

第2部 一般公開 募集人員 60名

基調講演 大津市歴史博物館 館長 樋爪 修氏

パネラー 大津市都市計画部 部長 寺田 智次氏

草津市 政策監 田中 成興氏

大津支部 支部長 千葉 薫

後援 大津市、草津市、大津市教育委員会

1部は、大津支部・湖南支部の青年委員会メンバーのみの参加になりますが、時間のご都合のつく方は出発地点や到着地点または別紙地図に記載しております各ポイントでご声援をお願いいたします。

ご不明な点等ございましたら担当の方までご連絡お願い申し上げます。 担当者：久木野 利一（携帯：090-8653-2310）



「近江八景でつながる琵琶湖の風景 ～急がばまわれ 瀬田の唐橋～」

お名前	ご連絡先	支部名

お申し込みはFAXにて… (社)滋賀県建築士会 大津支部<FAX.527-3764>(石倉工務店内) (お問い合わせは… TEL.527-3764)

12月9日(金)、甲賀カントリー倶楽部にて21名の参加のもと、「第7回ゴルフコンペ」を開催いたしました。冬本来の冷え込みと時折、雪がちらついたり、強風が吹きすさんだりしましたが、天候も何とか持ちこたえてくれ無事に終わることが出来ました。優勝は青年委員会新鋭の猪田洋さんでした。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。次回は、季節の良い頃に開催を予定しておりますので乞うご期待下さい。



支部だより

湖東支部

姫路城大天守修理見学施設「天空の白鷺」見学

11月27日に参加者20名で一昨年の姫路城西の丸屋根吹き替え工事見学に引き続き、大天守修理見学施設「天空の白鷺」を見学しました。今回は、城郭建築をより深く知るとともに、姫路城を覆う仮設建築も見学するという目的で企画しました。姫路城は一般観光客の方は少なく、ほぼ建築関係の観光客の様相でしたので、思っていたより空いていてゆっくりと姫路城内も見学できました。

午後からは姫路支部長であり「歴史と出会えるまちづくり船場城西の会」理事の中山栄一郎氏、兵庫建築士会姫路支部青年部長の西脇聖嗣氏にガイドいただきながら、船場・城西地区の街並み見学、本徳寺の再生の活動状況などをお聞きました。船場・城西地区は姫路城の城下町で船場川の水運による材木にて栄えた界隈です。戦災もほとんど受けず、旧街道の面影を今も残しています。また船場城西の会では船場御坊本徳寺の再生活用を中心に築市の開催やまちあるきなど積極的な活動報告に元氣とやる気をいただいて、帰路につきました。



高島支部

第3回甲賀支部との交流・見学研修会開催

高島支部では、11月19日に、第3回目となる甲賀支部との交流・見学研修会を開催しました。今回は、甲賀支部の計らいで、甲賀市信楽町を訪ねました。

最初に、大塚オーミ陶業(株)信楽工場にて、ショールーム及び工場見学をしました。長年培われてきた陶業、特に陶板の技術には目を見張るものがありました。その技術は世界でも高く評価されており、県人として誇らしく感じました。工場では、大阪中之島フェスティバルタワーの壁面レリーフの再製作がなされており、その作業風景は圧巻でした。

昼食後は、澤善で陶芸体験をしました。ミニろくろを廻して一端の陶芸作家気分で作った作品を、いとも簡単に手直しされて苦笑いという場面もありました。が、土に触れ、人に触れ参加者の親睦が深まる時間でした。

最後に、ループル美術館のガラスのピラミッド等の設計で有名なイオ・ミン・ペイ氏設計のMIHO MUSEUMへ向かいました。レセプション棟から電気自動車で、もしくは徒歩にて、トンネルを抜けて吊り橋を進むと、美術館が現れます。信楽の桃谷の地に「桃源郷」をイメージしたというその設計は、自然との調和を重視しており、スカイライトからの自然光で存分に明るいその建物は、建築容積の80%が地中に埋設されています。またゆっくりと探訪したいものです。

その後、魚仙で懇親会が開かれました。琵琶湖を挟んで遠方同士の支部ですが、互いの郷土を知り合い、人となりを知り合い、有意義な交流がはかれました。(M.I)



大塚オーミ陶業(株)にて集合写真



陶芸体験

湖北支部

第16回 湖北支部親睦ゴルフコンペ開催

紅葉真っ盛りの彦根カントリー倶楽部 11月23日(勤労感謝の日)にて親睦ゴルフコンペを行いました。参加者 22 名の内 湖南支部様より 6 名の方ご参加いただきました。当日は好プレイ、珍プレイ、最終ホールは日没で後ろ 2 組はライトアップでのゴルフ、及び彦根カントリーの狭い曲がったコース、大変お疲れ様でした。ゴルフ終了後 19 番ホールへと移動し、表彰式 懇親会を行い、更なる交流を深め楽しい 1 日でした。ちなみに優勝者は湖南支部 西村学様でした。次回も多数のご参加を、マネージャーと共におまちしております。



情報広報委員会

地域で頑張る建築士募集中!

月刊「家」2012年号では県内各地で活躍する建築士を紹介します。
まちづくり、防災、福祉、人づくり等々の各種の活動を通じて社会、地域で頑張っている建築士や、建築士が関わっている市民団体、ボランティア団体などの活動や成果、ゆめ等を月刊「家」の誌面を通じて紹介していきます。
現在、委員会では取材を進めております、皆様からの情報をお待ちしております。
(連絡先) 建築士会事務局 電話 077-522-1615 FAX 077-523-1602

1月の暦

1	日	先勝	元旦		13	金	先勝	建築関係五団体合同年賀会	23	月	先勝	
2	月	友引	振替休日		14	土	友引		24	火	友引	
3	火	先負	事務局年始休暇	↓	15	日	先負		25	水	先負	・四役会 ・四役、委員長会議
4	水	仏滅			16	月	仏滅		26	木	仏滅	
5	木	大安			17	火	大安	・総務企画委員会、細則・内規等 検討特別委員会合同委員会 ・まちづくり委員会	27	金	大安	
6	金	赤口							28	土	赤口	近畿あーきてくと
7	土	先勝							29	日	先勝	
8	日	友引			18	水	赤口		30	月	友引	
9	月	先負	成人の日		19	木	先勝		31	火	先負	
10	火	仏滅			20	金	友引					
11	水	大安			21	土	先負					
12	木	赤口			22	日	仏滅					

新入会員のご紹介

支 部	氏 名	住 所
大 津	柴原 勝之	大 津 市
	久田喜代治	大 津 市
	目片 勝朗	大 津 市

平成23年12月理事会承認分

おうみ賢人 堤 康次郎 (愛荘町)

堤 康次郎と郷里・滋賀との関わりは、まず戦前に近江鉄道の経営を引き継いだこと、そして昭和30年代には、伊吹山・箱館山スキー場の開発などがあげられる。
政治家としての貢献では、昭和32年からの大津市との関わりが大きい。この年、大津キャンプからの米軍撤退が決まったが、跡地へ自衛隊を置くという計画に対し、大津市側は反対した。陳情を受けた堤は、「大津は絶好の観光地で土一升金一升の所を兵隊屋敷にしてどうするか」と結論し、当時の岸 信介首相や防衛庁長官に手紙を送るなどの働きかけをおこなった。その結果、市側の主張が基本的に認められ、昭和33年に大津市初の名誉市民の一人に選ばれている。
(滋賀の20世紀:サンライズ出版より)



大津プリンスホテル